

“JSMS COMPOSITES Young Research Symposium, 2011”

出張報告書

作成日 2011/09/07

文責：構造工学研究室

11M0 日野孝司

1. 記録記事

日時：2011年9月2日（金）～3日（土）

場所：京都工芸繊維大学 京丹後キャンパス地域連携センター

行事名：2011年度 JCOM 若手シンポジウム

主催：日本材料学会

行事概要：複合材料分野の研究を担う若手技術者・研究者による研究発表

研究発表題目と発表者：

- ・微細ノボロイド繊維を含有したエポキシ母材

- を用いた平織り CFRP の疲労特性

- 岡部航，藤井透，大窪和也，谷岡俊哉氏

- ・CFRTP 製板ばねの初期共振周波数に及ぼす成形時の冷却速度の影響

- 近藤諭，藤井透，大窪和也

登壇者：

- ・岡部航

- ・近藤諭

同道者：藤井先生，大窪先生，11M2 岡部，11M1 近藤，11M0 日野

参加費：学生会員 2000 円，非学生会員 3000 円

行事の開始時間：9月2日（金）13:00

行事の終了時間：9月3日（土）13:00

発表の総件数：16 件

詳細：日本材料学会複合材料部門委員会のページに記載

<http://compo.jsms.jp/archives.html>

2. 出張結果

本シンポジウムでは、若手からベテラン研究者まで幅広い層の人たちが集まった中で、若手研究者による一般公演が行われた。会場からは厳しい指摘があり、両者の熱い議論が繰り広げられた。学生はとてつもない指摘を受け、たじたじになる場面もあったが、いろいろとアドバイスして頂き、討論することで自分たちの不足点を認識することが出来、若手にとって非常に有意義なシンポジウムになったと思う。

以上



図 1, 2 研究発表の様子



図 3, 集合写真 (会の方より提供)